

アルゼンチンアリをご存じですか!?

1 どんなアリなの?

アルゼンチンアリは、もともと南米で生息していたアリでしたが、農作物や人の移動などで世界各地に拡がり、日本においても、平成5年に広島県廿日市市で初めて確認されて以来、山口県、兵庫県、愛知県、岐阜県、神奈川県など2023年現在は15都府県で定着が確認されています。

アルゼンチンアリは、一つのすみか（コロニー）の中に複数の女王アリが存在し、たくさんの巣があります。また、普通のアリのように巣を飛び出しての結婚飛行（年に一度、新しく誕生した女王アリと雄アリに翅（はね）が生え、空中に飛び出し交尾を行う行動）は行わず、巣内で生殖行動を行い繁殖するため、コロニー内で個体数が増えます。さらに、普通のアリに比べて産卵能力が高く、個体数が急増する要因となっています。

*体の特徴

最もよく見つかる職アリ（働きアリ、メス）の大きさは約2.5mmで、色は淡黒褐色（脚はやや薄い色合い）をしています。腹柄節（お腹のくびれ部分にある突起）は一節で、高さも高くありません。腹部末端部（お尻）は円錐状でなく開口部が切れ込み状になっています。触角は比較的長く、腹部はスリムで全体的にほっそりした体型です。

2 どんな生活をしているの?

アルゼンチンアリは、食欲旺盛で砂糖やお菓子のほか、果物や花の蜜、植物の種子等いろいろなものを食べます。

営巣性（巣を作る性質）が高いためいろんな所に巣を作り、コンクリートの割れ目、石や枯れ葉、シートなど地表をおおっているものの裏などにも生息

しています。

活動的で、エサを求めて屋内にも侵入してることがあります。動きは速く、特に他の種類と違い冬でも鈍くなるものの活動します。

また、巣の環境が悪くなるとすぐに移動して、新しい巣をつくることもしばしばです。

繁殖の最盛期は、夏から秋にかけてで、このころ最も個体数が多くなります。

3 被害はあるの?

*在来種への影響

営巣性・活動性が高いうえに攻撃性も高いため、元々生息していた在来種のアリが、アルゼンチンアリによって、駆逐されてしまい、その地域の生態系が崩れてしまうこととなります。また、特定外来生物法では、セアカゴケグモ等と同様、飼育、移動や保管が原則禁止となる特定外来生物に指定されています。

*人への被害

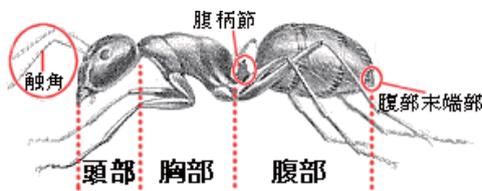
営巣する場所が比較的家屋に近いことや、活動性が高く、甘い物を求めて行動するため、よく屋内にも侵入してきたり、巣を形成したりします。このため、不意に咬まれたり、体を這われたりすることがあります。また、個体数が非常に多いため、甘い物などがあると大量に群がったり、餌を求めて屋内に大量に侵入したりする場合もあり、不快害虫としての被害も甚大です。

*農業害虫

アブラムシやカイガラムシが出す甘い液（甘露）が大好物で、その甘露をもらう代わりに、アブラムシやカイガラムシを、外敵などから保護します。このため、アブラムシやカイガラムシが大量発生し、



写真1：コンクリートを這うアルゼンチンアリ



図：アリの体について（アリの王国（ポプラ社学習文庫）クロオオアリ図を一部改変）



写真2：アルゼンチンアリ背面からの写真



写真3：アルゼンチンアリ側面の写真

農作物や植物などが被害を受けることがあります。また直接、果樹などの農作物に影響を与える場合があります。

4 ではどうすればいいの？

まず、発生しているアリがアルゼンチンアリかどうかを専門家に確認してもらう必要があります。アルゼンチンアリであることが分かれば、効果的な対策が取れます。

*屋内に侵入させないためには・・・

偵察しにきた職アリを見つけられると、大量に集まってくる可能性があるため、エサとなりうる甘い物などは、密閉容器などにきっちり片付けましょう。

次に、アリを見つけたらよく観察してどこから侵入してきているのか調べるのが大切です。また、コンクリートの割れ目や植木鉢・シート・落ち葉の裏などに巣を作るので、このような場所を確認してアリが生息していないかみることも大切です。

*薬剤による対策・駆除・・・

薬剤が市販されています。残効性のある粉末やスプレータイプの薬剤を侵入経路もしくは家の周りに撒くことで侵入を防止する方法や、巣の場所が分かっている場合には、巣に直接噴霧することで、直接接触したアリ以外にも、グルーミング（お互いの体を舐める習性）を利用して、p0多くのアリを駆除できます。巣の場所が分からない場合には、ベイトタイプの薬剤で、巣の中に持ち帰らせて駆除することもできます。